

# 風しんぶん



## より良い環境のため、私たちは何をすべきか？

まちづくりフォーラム

「建築・マンション紛争を考える」 ～より良い住環境のために～

7月12日(土)、梅雨時期にもかかわらず浜松市では最高気温35度の猛暑日となったこの日、センター2階のギャラリーでまちづくりフォーラムを開催しました。

昨今、各地で建築やマンションに関する紛争がおきています。紛争を無くし、より良い住環境を守るために、私たちは何を考え、何をすべきか？外の暑さに負けないぐらいの熱い議論が交わされました。

まずは、国立マンション訴訟など多数の紛争を手掛けるほか、墨田区環境基本条例検討委員、練馬区まちづくり条例委員など自治体のまちづくりにも携わる弁護士の日置さんからご講演をいただきました。

### 講演1:「都市建築・マンション紛争にみるまちづくりの諸問題と展望」 日置雅晴さん(弁護士)

欧米に比べ日本の都市計画は、規制が緩く、一部を除いて高さ制限もないなど、制度上の問題が多くあることが指摘されました。また、建築確認の民間開放により民間審査機関では単に建築基準法上の審査だけが行われ、地域の実態や個別の状況について行政がきめ細かく対応することが難しくなっているということも問題として取りあげられました。さらに、建築に係る規制が緩和されて、以前よりも狭い敷地で高い建物の建築が可能になったことに加え、傾斜地マンション、からぼりを使った平地型地下室マンション、複数棟を連結した建物など、緩和条件の脱法すれすれの建築計画が横行し、紛争の原因となる場合が多いとのことでした。



建築基準法の違法性があれば、審査請求・行政訴訟により確認が取消される事例がありますが、日照権・圧迫感・景観侵害などを理由に争う民事訴訟では最近では全面差し止めはほとんど認められない状況だそうです。

紛争を予防する策として、自治体による高さ規制の動きが首都圏を中心に拡大しているとのことですが、これにより上限いっぱい建築物が多く出現し、規制内の建築を容認する結果になるなどの問題点もあります。その他法的には強制力が無い建築協定による規制などもある程度の抑止効果はあるとのことですが、市民が様々な情報や対応策・専門家や支援者の情報などを共有して、市民ネットワークを構築し、将来的には都市計画制度や法改正を提言していくことも必要であると意見を述べました。



つづいて、市民啓発や市民活動支援に携わるほか、多くの大学で教鞭を取るとともに、東京都開発審査会、鎌倉市景観審議会などの会長や委員として活躍中の都市計画コンサルタントの稲垣さんにご講演をいただきました。

## 講演2：「紛争を未然に防ぐために～何ができるか、何をすべきか～」 稲垣道子さん(株)フェリックス代表



「建てる権利に対して環境を守り育てる権利が確立されていない」「地域の将来像やまちづくりのルールが定まっていない」「専門家も住民も自分で考え行動する主体として確立していない」ことが基本的な問題であり、現在の日本では、あらゆる用途の建築が紛争の原因となりえ、計画～着工～完成後までどの段階でも紛争を招き得ること、さらに大規模なマンションは、コミュニティへの影響も大きいことを指摘されました。

紛争の背景には、計画内容のみならず、計画を支える法制度、紛争対応の手続き制度、事業者・行政・裁判所・住民・専門家などの当事者のあり方などが問題となっています。紛争を未然に防ぐためには、自治体

による条例の制定、都市計画制度の活用(容積率・高さ制限等)、地区計画の申し出制度などがあるとのことですが、「公共の福祉」「自治事務としての都市計画」をあらためて考える必要があると述べました。

紛争が起きないまちづくりのためには、地域住民としては、地域エゴ・先住民エゴの意識を捨て、日頃から地域のコミュニケーションの機会を作ることが重要であり、ひとりひとりの気持ちを形(文章)にした「まちづくり憲章」など有効な具体例についていくつかお話いただきました。



その後の質疑・意見交換では、実際に紛争に直面している住民の方々からの質問が多く出されました。高層マンションの建築計画に地域住民として対抗する手段について質問が集中しましたが、日置先生は「地域住民がどこまでの運動をするかは、それぞれの価値観による。膨大なエネルギー、手間、時間、お金がかかる場合があるが、合法的な建築計画を覆すことは困難である。特效薬はないが、運動をしなければ計画通りの建物が建ってしまう。運動を展開すれば計画が変更されるかもしれないし、将来に渡って改善させられるかもしれない。」と考えを述べました。



暑い中、  
ご来場いただき  
ありがとうございました。



# ■地域のまちづくり

人と地域を  
応援します！



## 自分たちの『まち』のこと、自分たちで考え、進めていこう！

まちづくりセンターでは、より快適で住みやすいまちにするため、地域住民が自ら考え、話し合い、実現する「地域のまちづくり」を応援しています。そんな地域のまちづくりが市内各所で行われていますが、今回は中区蛸塚の蛸塚二区地区にスポットを当ててみました。

### 蛸塚二区地区

老若男女、だれもが安心して暮らせる  
住み良いまちづくりを！



蛸塚二区地区は、主として低層の住宅が建ち並び閑静で落ち着いたある住宅地です。地区の中心に宗源院があり、その周りには樹林がある緑豊かな地区である上、鱸谷伝説、三方原合戦場の成瀬谷、歴史の散歩道もあり、歴史と文化の香るまちとして、市民の憩いの場、健康増進の場にもなっています。

地区内の市営住宅跡地が売却され、高層マンションなどが建設されることが懸念される中、跡地利活用と地域の住環境の整備・保全を目的として H17.10.7 蛸塚二区まちづくり協議会が発足されました。協議会はNPO法人格を取得し、継続して地域のまちづくりに取り組むことを目指しました。

地域の高齢者や独居老人に対するケアも大きな課題のひとつであったこと、また、市営住宅跡地は聖隷病院の発祥の地であったこともあり、跡地には市民の健康・医療・福祉の拠点として、小公園と福祉関連施設の立地が決定されました。今年度からデイサービスセンターと障害者授産施設がオープンしています。また、高齢者向けの小公園「蛸塚ふれあい公園」が来年度完成する予定です。今後も互いに支えあって地域のまちづくりの核となっていくことでしょう。



みんなでまち歩きをすると、いろんなことに気がきます

この地区は、古くからの住宅街でそれぞれの住宅が隣接しており、道路事情も決して良いとは言えません。みんなでまち歩きをしたり、まちについて話し合ったりすることで、いろいろ気付いたり、改善したいと思ったりすることが出てきます。協議会では、何度も話し合いや現地調査などを重ね、土地の利用の仕方や建物の建て方についての約束事を定める「地区計画」の素案を作成しました。建物の高さや壁面の位置などについての決め事が盛り込まれています。地域住民への説明会も開催し、今後は地区計画原案として市へ申し出て、都市計画決定の手続きに入る予定です。

これらの協議会活動を通して、これまであいさつ程度しかしなかった地区内の人々が豊かなコミュニケーションをとれるようになりました。これは協議会活動の大きな大きな“副産物”と言えるでしょう。また、女性陣の活躍が目覚ましいことも特徴のひとつです。元々地域になじんでいる方も多く、積極的に活動に参加し、協議会活動の“主力”として頑張っています。子供たちも一緒にまち歩きをして、町内の危険な箇所を表した“町内ヒヤリマップ”も作成しました。

急がず、あせらず、楽しみながら、こうした活動を継続することによって、だれもが安心して暮らせるまちづくりが実現することでしょう。



女性陣の活躍により、ニュースレターも編集・発行しています



# ■ たねからみのり



5月11日(日)の事業説明会・課題マーケットにおいて16の課題(たね)が発表されました。  
今後、この“たね”を元に協働事業提案を受け付け、検討し、公開プレゼンテーション(7/26)を行います。



～ 5/11の課題マーケットで発表された“たね”～

市民協働

1	市民活動がテーマのデータベースが不足している
2	子ども農産漁村交流プロジェクトにおける、指導者の人材育成と受入体制が不足している
3	東海道花ロードをつくるためのボランティアとネットワークが不足している
4	中田島砂丘が侵食されている
5	捨て猫をなくす
6	市街地で学ぶ小中学生に、街の緑の大切さやその種類の多さを学ぶ機会やツールが不足している
7	浜松モザイクカルチャー世界博2009を契機に、市外から来る方に市内の街路樹等の緑を紹介するおもてなしツールが不足している
8	浜松市における森林の間伐が不足している
9	浜松農業におけるビジョンが不足している
10	福祉業務に関わる行政職員と福祉支援活動を行う団体の相互に情報が不足している
11	犬の鑑札が十分につけられていない
12	特定検診の受診率が十分に上がらない恐れがある
13	バスターミナルの地下道がわかりにくい
14	放し飼いの猫(野良猫)による被害
15	外国人市民の市民税等の収納率が低い
16	協働やNPOの理解が十分でない

# ■ ユニバーサルデザイン学習



小学校4年生

UDって発見できるかな？



自動販売機にもUDがあるんだね！

6月2日、浜松市立泉小学校4年生のみなさん(約95名)がUD(ユニバーサルデザイン)を学びに、まちセンとアクト通りの見学に来ました。みなさんは3年生の頃からUD学習に取り組み、車椅子体験や公共施設の見学などを行ってきたそうで、今回はその集大成として、自分たちで館内のUDを探してみようと「UD発見」を行い、たくさんのUDを見つけることが出来ました。

また、アクト通りの見学では、「歩道が広くてとても歩きやすかった。」と感心していました。

この日みなさんは、泉町から公共交通機関を使いまちセンまでやって来ました。そんな体験もUDを考えることに繋がるのでしょね。

ユニバーサルデザイン学習<参加校>

附属中学校3年生、上島小学校3年生、東小学校4年生、与進小学校4年生

## UD製品紹介



### プニャプニャピン

- ・画鋲の針が手に触れにくい
- ・落ちたときに針が上をむかない
- ・外すときに力がいらぬ

# まちづくり夜楽塾&まちづくり塾

## 第68回 「まちづくり人材育成講座受講生による成果発表会」 3月24日(月)



お話しは・・・  
第3期人材育成講座  
受講生の皆さん

平成19年度の受講生が、中心市街地活性化をテーマにグループ別で取り組んだ研究を発表しました。『公共交通システムの見直し』では、5月から遠鉄「小沢渡線」のバス停2箇所に無料の駐車場を設け、パーク&バスライドを試みるそうです。『活性化の為の取り組みの調査』では、「くるる」「大丸出店」「冬の蛸」の政策についてまちなかでアンケート調査を行い、日常的な意識調査は、市民の関心を高めるのでは、と提案しました。『回遊ルートについて』では、用事が済むと帰ってしまう人達が散策したくなるようなルートを考案し、実際に歩いて気付いた問題点について提案をしました。

## 第69回 昼と夜の浜松まつりの語りべ 3月26日(水)

鍛冶町「か組」の組長の経験から、昼と夜の浜松まつりについてお話ししました。凧揚げ合戦は時代と共にその方法も変化していますが、伝統と凧を守り続ける重要性をお話ししました。か組の屋台は歌川広重作「東海道五十三次」の彫刻が装飾されており、木目が生かされた躍動感ある作品です。初子の家に訪問して誕生を祝う練りは、激しく且つ秩序のある練りになる様に工夫しています。これまでに起こった事件や事故についても裏話を聞くことができました。地元の宝である浜松まつりを、これからの若者たちに伝えていきたいという情熱が伝わってきました。



お話しは・・・  
山田 有一さん  
('動・粋・静 浜松まつり' 著者)

## 第70回 猫基金 HELP!ニャツ のら猫を増やさない!命の大切さ 5月22日(木)



お話しは・・・  
新見 正子さん  
(捨て犬!捨て猫!ゼロの会)

「命って大切だよ」という発想から会を立上げ、捨て犬・捨て猫をゼロにすることを最大の目的に活動をしていらっしゃいます。昨年の9~12月に募金箱を設置、フリーマーケットに参加など様々な活動により617,029円が集まりました。集まったお金は助成する為だけに使っているそうです。今年の2/22(猫の日)より事業を開始し、現在76匹ほど手術をした猫がいます。今、行なっている事業を協働で例えるならば市民と市民が協働する形。行政を頼るだけではなく、市民で解決できることは市民で解決したいという発想でこの仕組みを作り、毎日忙しく活動されています。

## 第71回 「不登校から学ぶ~いろいろな生き方を認めて~」 6月28日(土)

「いろいろな生き方があっていいんだよ。」と青木さんは言います。それは、子供は、学校に行かなければならない義務はなく、学ぶ権利があるからです。しかし、大半の人は、学校は行かなければ行けない所、義務教育とはそういうものと思っているので、いざ自分の子供が不登校になってしまうと慌ててしまうそうです。そんな人たちの助けになればと「浜松登校拒否親の会」は、人との繋がりを大切にしながら18年間、自助グループとして活動を続けています。日常生活から離れることは、精神的に大変なことですが、「せっかく不登校になったのだから」と気持ちを切り替えて充実した日々にしましようとお話されました。



お話しは・・・  
青木 洋子さん  
(浜松登校拒否親の会)

## 第72回 「段ボールを使って家庭で簡単に生ゴミ堆肥」 7月4日(金)



お話しは・・・  
土橋 登巳代さん  
(エコライフはままつ)

誰にでもできる生ゴミ減量法の一つとして段ボール式コンポストを紹介しました。生ゴミの処理にはどの家庭も苦労していると思いますが、段ボール式コンポストを利用すれば経済的で、更にその堆肥を野菜づくりや庭の花壇に活用できます。今回は段ボール式コンポストの長所や短所をお話ししながら、原材料の配合や使用方法を実演しました。実際に使用中のコンポストを近くで見せて頂きながら工夫点もお話ししました。参加者からは上手な混ぜ方や入れて良い物、悪い物、堆肥としての使用方法など、とても活発な質問が出て大盛況でした。



# サロン展示

5/15(日)～6/1(日)

「姫街道の松並木写真展」松並木のいま・むかし」



大正末期から現在までの姫街道松並木と周辺の街並みの様子を写真で伝えました。

また一本の松が倒れたことから始まった、姫まつプロジェクトの活動も紹介しました。

主催：姫まつプロジェクト

姫街道の松並木を考える会



千客万来

「SOSアジア世界遺産パネル展」

6/11(水)～6/16(月)

(アフガニスタン・フィリピン編)



危機遺産リストに登録されている世界遺産は30件。危機にさらされている世界遺産を16枚のパネルで紹介しました。

パネル展に併せて地域遺産パネル討論会も行いました。

主催：世界遺産の会



## 花壇の花が変わりました♪

昨年、「花と緑のまち・浜松」のまちづくりを応援するために参画した花壇も2年目を迎え、先日の7月15日に職員で花の植え替えを行いました。

センター前の3つの花壇にはサルビアやマリーゴールドの花などが咲いています。これから秋にかけてキレイな花を次々に咲かせてくれることと思います。



花言葉



マリーゴールド

健康 ・ 嫉妬 ・ 希望 ・ 悲哀

原産国 メキシコ



サルビア

燃ゆる思い ・ 尊敬 ・ エネルギー

原産国 ブラジル

## 新たに加わったまちづくり関係団体

(7月20日現在)

No.	団体名	まちづくり活動の分野	紹介
150	浜松登校拒否親の会	教育	不登校や子育てについて当事者としての視点で話しあい情報交換により、支えあい共有する場になっている。
151	BSC研究会	産業	経営戦略ツールとして世界的に注目されるBSCを通じて中小企業及び地域の活性化に資する研究活動を行う。
152	特定非営利活動法人 エコライフはままつ	環境	浜松市民が地球環境に優しいライフスタイルを実践し安全で住みよい社会を構築して未来に伝える活動に寄与する。



# ★ ★ 関係団体からののお知らせ ★ ★



## 動物相談会

### 新しい飼い主さんを探す&動物相談会

毎月、第一日曜日に開催！次回は8/3(日)

場所・時間は

浜北区 ときわ屋

(貴布祢 1814-5)

587-7006

10:00~16:00

ワンちゃんかネコちゃん飼いたいけど何を用意したらいい？

おしっこか糞はどうしたらいいの？

捨てられたネコちゃんがいいたけどどうしたらいいの？

近所のうちで飼い主のいないネコにえさをやっていて子猫が生まれているみたいだけど…

ネコの糞尿で困ってるよぉ〜！野良猫がふえているみたいどうすればいいのぉ〜。など

気になることがある方はぜひ来てくださいね。

【主催】静岡犬猫ネットワーク・捨て犬！捨て猫！ゼロの会



## にゃんポジウム2008&写真展

### 人と猫との共生のための仕組みづくりを考えよう

#### ■【人と猫との共生のための仕組みづくり】を考えるにゃんポジウム

2008年8月23日(土)

\*午後12時30分~午後3時

場所:掛川生涯学習センター 第2会議室

電話:090-7695-8221

\*午後6時30分~午後9時

場所:浜松まちづくりセンター 2Fギャラリー

共に入場無料



#### ■【中川こうじ写真展】のらねこ~小さな命の写真展~

8月11日(月)~22日(金) ギャラリー風蘭

8月23日(土)18:30~21:00 浜松まちづくりセンター

8月24日(日)~31日(日) 地域交流プラザパレット

#### ■【こべい写真展】&【自慢の猫写真展】~まち描写真展~

2008年8月23日(土) 10:00~17:00

場所:掛川生涯学習センター

## 県営遠州灘海浜公園リサイクルフリーマーケット

8/10(日) 10:00~14:00

8/16(土) 10:00~14:00

8/23(土) 10:00~14:00

8/30(土) 10:00~14:00

【場 所】県営遠州灘海浜公園(静岡県浜松市南区江之島町)

【内 容】広い公園内には球技場、木製遊具、サイクル広場、自然生態観察園など様々な施設があり、四季折々の自然が楽しめます。出店は開催日の5日前までにご連絡ください。出店料1,800円

【問合せ先】浜松文化フォーラム 090-9228-1823



## 第1回 動物愛護フェスティバル in 浜松 -地球といきものたちの祭り-

【場 所】浜松駅前ギャラリーモール(遠鉄百貨店とフォルテの間)

【内 容】動物愛護週間イベントとして、県西部地区で活動する動物ボランティア団体の活動紹介、動物愛護普及啓発チラシの配布、パネル展、寄付品のバザー、15~20 チームによるダンスショーケースを実施、「いのちの大切さ」と「小さいいのちにやさしいまちづくり」を考えます。

【問合せ先】浜松文化フォーラム 090-9228-1823



9/20(土)

11:00~17:00



## 第2回 やらまいかミュージックフェスティバル



第2回  
やらまいか  
ミュージック  
フェスティバル  
in ばまっ

会場 / 浜松中心街・15ヶ所(予定)のステージにて

出場バンド数 / 約140バンド

開催内容

音楽ジャンル、年齢、国籍、プロアマを問わないミュージックが音楽の街・浜松に大集合！演奏者も聴衆者も運営者も、市民みんなが一体となって楽しむ、まさに“音楽の祭”です。また、会場では、楽器広場、ミュージックマーケットなどを併設して音楽の街・浜松ならではの特色ある音楽祭を開催します。

2008年  
10月12日 sun  
11:00-16:00

主催:やらまいかミュージックフェスティバル実行委員会

HP <http://www.yaramaika-mfes.com/>



# ☆☆センターからのお知らせ☆☆



## これからのまちづくり夜楽塾

8 / 28 (木) 「みんなの意見を活かした住環境づくり」 19:00 ~ 20:30

お話しは・・・遠山 元気さん (東京工業大学大学院社会学専攻)

住民参加型まちづくりにおける、多段階アンケート調査による地域目標空間像形成についての大学院生の試みと研究を名古屋の町並み保存地区を例に紹介します。

## 今後のサロン展覧

(火曜日は休館日です)

### 遠州自然展



8月1日(金) ~ 8月10日(日)

出展者による説明会: 8月3日(日) 13:00 ~ 15:00

浜松市の中心に遠州地方の自然(植物、動物、景観、地形地質など)に関する調査研究結果について、写真・標本までで紹介します。

### 自然と暮らし



NATURE AND DAIRY LIFE

ユネスコアジア太平洋写真コンテスト入選作品/パネル展

8月13日(水) ~ 9月1日(月)

西はイランから、東はニュージーランドまで、民族・性別などあらゆる違いを超えて、アジア太平洋に住む人々の視点でとらえた、自国の写真110点を展示します。

### 捨て猫を減らそう! Ichio world&猫写真展



9月3日(水) ~ 9月29日(月)

「猫に恋がれる人にはたまらない!」きり絵の作家の ichio さんが繰り広げる猫の世界と応募で集まった自慢の猫写真を展示して紹介します。

## まちづくり楽校

### 『身体障がい者スポーツ“ボッチャ”を体験しよう!』

8 / 10 (日) 13:30 ~ 16:00

身体障がい者スポーツでパラリンピック公式種目の「ボッチャ」。選手のお話を聞き、体験します。

子供からお年寄りまで、障がいの有無や年齢に関係なく楽しめます。

**ところ** 浜松まちづくりセンター 2階 第1・2研修室、ギャラリー

**対象** 小学生以上

**参加費** 300円(保険料・資料代)

**定員** 30名(先着順)

**申込み** 8月1日(金)から電話で浜松まちづくりセンターへ。(457-2616)



## まちづくりフォーラム

### 「自転車のまちづくり 第2弾!」

-人と環境にやさしく-

8 / 23 (土) 13:30 ~ 17:00

静岡文化芸術大学 南280教室にて

入場無料



話題提供

「自転車で変わる世界観 そこから発信したくなるもの」

講師: 白鳥 和也 氏 (自転車文学研究室主宰、小説家・エッセイスト)

自転車ルートマップ中間発表

フリートーク



楽しく豊かな環境にもやさしい生活を送るために、いろいろな視点から、楽しみながら自転車のまちづくりについて考えましょう。

### 浜松まちづくりセンター通信「はままつ風しんぶん」

発行: 浜松まちづくりセンター(平成20年7月)

430-0929 浜松市中区中央1-13-3

(財)浜松まちづくり公社(指定管理者)

☎053-457-2616 FAX053-457-2617

メール: h-m-c@msi.biglobe.ne.jp HP: http://hamamatsu-machi.jp/center/

